

記者 ノート

先月12日、神奈川大
学が横浜市内に新キャンパスを2021年に開設すると発表した。平塚市の土屋地区にある湘南ひらつかキャンパスの集約も検討されているという。

同市によると、市内在住の同大の学生は約1300人。家賃と生活費を1人10万円と見積もっても年間約16億円に上り、全てが移転



大学が出ていく街

となれば地元経済への影響は避けられない。もちろん、お金の話だけではない。バス路線の減少に伴う交通利便性の低下も考えられる。里山再生活動や小学生のキャンパス体験など、同大の地域貢献は盛んだった。活気が失われるのも痛い。

市は「選ばれる町」へプロモーション活動を進めてきたが、ある経営者は「大学が出ていった街のイメージはどうなのだろう」とこぼした。今後の行政の対応を注目していきたい。(浅川 将道)